

Domaine Gramenon

ドメーヌ・GRAMON

地域：Rhône ローヌ南部

地区、村：Monbrison sur Lez

モンブリゾン・シュル・レ村

造り手：Maxime-François LAURENT

マキシム＝フランソワ・ローラン



HP : <https://www.domaine-gramenon.fr/en/>

◆ワイナリーと造り手について

ドメーヌ・GRAMONはローヌ南部でも北側のエリアのモンブリゾン・シュル・レ村にセラーを構える。東に向かえば AOP ヴァンソーブルからアルプスの麓へと続くエリアで、ブドウの、特にグルナッシュの栽培に適した地域だとされてきた。そのおかげで彼らのドメーヌ設立時にも樹齢 100 年を超えるゴブレ仕立てのグルナッシュの畑を入手することが出来た。気候に適した品種が栽培されてきたことで、現在で言うバイオロジック栽培が、“普通の”栽培方法とされてきたからこそブドウも長寿で、畑の状態もとても良かったのだ。

ミシェル＝オーベリーとフィリップ・ローラン（1999 年逝去）夫妻は 1978 年に 12ha のブドウ畑からワイン造りを始め、翌年の 1979 年に誕生した最初のキュヴェのひとつが、ドメーヌのフラグシップワインともなったセップ・



サントネール・ラ・メメ（＝樹齢 100 年のブドウの樹）だった。それからも少しずつ畑を買い足していき、カジュアルなポワニエ・ド・レザンから、区画のセレクションのラ・パペスやラ・サジェスなどの



グルナッシュの傑作を長年生み出している。

2006年に3人の子供の1人、マキシム＝フランソワがドメーヌへと入り、同時にマキシム＝フランソワ・ローランの名でネゴシアンをスタート。2022年にはミシェルも40年以上の醸造家人生を終え引退。マキシムへとワイナリーの運営を手渡した。

「両親が40年以上続けてきた冒険を、自分が引き継ぐことになったことをとても誇りに思います。彼らの意思を引き継ぐことは私にとって当然のことであり、その上でドメーヌ・GRAMENONを気候変動に適応させるという使命に立ち向かわなくてははいけません。オリーブや果樹の植樹を行うなどの、ブドウ畑の環境整備が目下の課題です。大きな挑戦ですが、私は一人ではありません。妻と良いチームに恵まれ、一丸となってワイナリーを運営していく覚悟です。そしてもちろん母ミシェルもワイナリーを完全に離れるわけではありません。」

2023年1月

マキシム＝フランソワ・ローラン

◆畑と栽培について

現在（2024年）30ha以上の畑を所有し、新しく購入した畑以外のすべてでデメター認証を取得（2010年以降）している。ワイナリーの周りの畑、標高330mから近年ではより高標高の畑を買い求め、標高400mをこえるヴァンソーブルのエリアにも畑を所有する。石灰の層の上に形成された粘土石灰質土壌や、畑によっては砂利（ガレ）や砂質土壌の畑もある。

栽培は当初からバイオロジック農法で行ってきたが、2000年代に入って最初の気候変動を感じ、古樹の反応を見て更なる栽培手法の向上の必要性を感じた。バイオダイナミック農法を少しずつ取り入れたところ、土壌のダイナミズムと植物の免疫は即座に強化されたことが見て取れ、非常に説得力のあるものだった。そしてこの活力の

向上はワインの品質にも反映されていた。

栽培品種のほとんどはグルナッシュだが、それぞれの区画は、それぞれの個性を持っているため、特徴的な区画は別々に醸造して瓶詰。収穫日の選択は非常に重要であり、決定的なポイントである。ブドウ本来の品質は、真に熟したときにのみ表現され、ブドウは手摘みで収穫され、注意深く選別される。



◆セラーと醸造について

石灰岩の小高い丘をくりぬいた熟成セラーは、冷房なしに熟成に適した温度を保っており、湿度も申し分ない。その上階が醗酵セラーとなっており、主にセメントタンクとステンレスタンクとで醗酵を行っている。2016年に醗酵セラーを改築し面積を広げ、同時に長く使っていた醗酵用の木製タンクを廃止し、セメントタンクへと切り替えた。気温が上がったため衛生面でより厳密な管理が必要となったためだ。設備を一部入れ替えたものの、醸造手法はそれまでと変わらず、醸造中のSO₂は添加せず、野生酵母での発酵、無濾過、無清澄、瓶詰時にのみ亜硫酸を添加している。

冬の降雨量も減り、気温上昇と夏季の乾燥が続く中で、どのようにフレッシュさも備えたワインを生み出すことが出来るかは、ローヌ

の生産者全体の問題だ。マキシムは 2006 年から始めたネゴシアン



業で、Il fait soif といった、ドメーヌものとは違った方向性の軽快な飲み心地のグルナッシュも醸造を長年行ってきた。その知識と経験の蓄積は、気候変動が続くであろうこれからも確実に役立つはずだ。